

女の子 こんにちはー。ごめんくださいーい。ヒロ兄ちゃん、出てきてよー。雪降ってるよ。
男の子 お、本当だ。もうこんなに積もってるし。ん。スキ有り！
女の子 ひゃあ、つめたい。あーっ。ヒロ兄ちゃんのいじわる。もうっ。
仕返しだー。くらえー。
男の子 つめてー！ なんだよ、頭からかけんなよ。
そんな悪い子にしていると、今晚、マイちゃんの家にはサンタ来ないぜえ。
女の子 え。それ困る。マイはいい子だよっ。
男の子 やれやれ。それにしても、サンタクロース、まだ信じてるのかあ？ 子供だなあ。
女の子 ふんだ。また子供扱いして。ヒロ兄ちゃんだっつて、あたしより4つ年上なだけじゃない。
とにかくっ、サンタはいるんだよっ。
男の子 あははは、なに言ってんだよう。
女の子 サンタはいるのっ。絶対にいるんだからあ。＜急に激しく。涙ぐむ＞
男の子 ＜泣かしてしまっつてやばいという感じで＞ え。あ、あ、そうだね。
女の子 ＜じろって見て＞ なに？
男の子 あ。まあ、いるかもね。あ、そうそう、そういや、去年見たの思い出した。
コンビニの入り口で、寒いのにケーキ売ってた。マイちゃん、君は正しいっ。
女の子 それは、大学生のお姉さんがお仕事でやってるの。
あたしだっつて、そんなくらい知ってるんだから。
男の子 ごめんごめん、ジョーク。ジョーク。いる、いるね。うん確かにいる。
みんなから頼まれたものをいっぱい積んで。
女の子 ＜明るく＞ そうそう。
男の子 はるばる来るんだ。
女の子 うんうん。
男の子 オートバイに乗って。
女の子 え？ ソリに乗って、でしょ？
男の子 まあ聞け。重要なのは出発してから15分以内に到着するっつて事だ。そうしないと、
せっかくの商品が冷めてしまい、客からのクレームが殺到してしまう。
女の子 それは、ピザ屋さん！ サンタの格好してるけど、
サンタじゃないっ。＜また泣きそうになる＞
男の子 ごめんごめん。本物もいるさ。わかってる。
女の子 本当にいると思ってるの？
男の子 ＜あきれたように＞ ああ。いるいる。
＜気分をとりなおして＞ それはともかく、あっち、行ってみようぜ。
(ポーズ)
女の子 雪、きれいだね。落ちてくる、ひとつひとつ、みんな違う形してるよね。
男の子 ああ。そうだな。
女の子 ねえ、知ってる？
男の子 なんだよ。
女の子 落ちてくる雪がね。ずーっと見てるとね。すごくたまにだけだね。
2つが途中でくっつくことがあるの。
男の子 ふ～ん。
女の子 その雪が、地面に落ちる前に、好きな人の名をとなえると、
その人といつまでも一緒にいられるんだっつて。
男の子 そ～かあ？ そもそも、雪がくっつくことなんてあるのかあ？
女の子 いい話でしょ。
男の子 ＜あきれたように＞ ああ。いい話だね。ま、そんなことより腹へった。
ああ、だんごが食いたい。

女の子 あっ。
 男の子 えっ？
 女の子 くつついたんだよ。今！ ヒロ兄ちゃんが、だんごって言ったときに。
 ふ、ふ、ふ、ふ、は、は、は、あはははは。
 ヒロ兄ちゃんのフィアンセ、だんごだあ～。
 男の子 だんごか……。 <冷静に> ま、それでも、マイちゃんよりはマシだ。
 女の子 もうっ。ばかー。
 男の子 イテッ！ 叩くなっ！
 (ポーズ)
 男 っと、あれから、もう10年。
 今日、オレは大学を卒業する。そして、あのマイも、高校を卒業して、
 一緒に社会人になっちゃう。。らしい。あ、来た来た。
 女 先輩！
 男 よお。
 女 あたしのほうはもう全部終わったから、雨上がったし、来ちゃいました。
 お。先輩、ブレザー姿、決まってますね！ 真っ赤なネクタイも最高です。
 男 マイも、紺の制服がまぶしいぜ。
 それに、髪型、変えたのか？ ご自慢の長い髪はどこいった？
 女 ここ。ここ。ここです。
 男 なんだ、まとめて固めたのか。おっ。こ、こ、この髪型は。
 女 なんですかあ？
 男 もしや、オレのために。そうかあ。そうなんだ。そんなにも。
 だんごになりすまして、意思表示なんて、洒落てるじゃないか。
 それに、なんていじらしい。
 <改まって> すまん。もうちょっと待ってくれ。オレにも心の準備が必要だ。
 女 何、ぶつぶつ言ってるんですかあ？
 男 覚えていてくれたんだろ。あの雪の日のこと。
 女 雪？
 男 ああ、雪の日。いやいや、別に、なんでもないよ……。
 (ポーズ)
 女 先輩。あの角まで、一緒に歩いていいですか。
 男 ああ、歩こうか。
 女 先輩も、4月から社会人なんですね。
 男 ああ、どうかな。お互い、人生の新しい一步を踏み出すってやつだ。
 女 こうやって歩いていると、何もかも、輝いて見えますね。
 先輩のブレザーの金ボタンも、緑の葉っぱの上に残った雨粒も、みんなキラキラ。
 雨上がりの桜並木、ん～気持ちいいなっ。
 男 随分と大人っぽいことを言うようになったもんだな。
 あれ、その手、何にぎってんだ？
 女 桜吹雪、くらえー。
 男 なんだー？ 頭からかけやがって。
 女 先輩！ 卒業、おめでとうございます！

2010年2月13日版 (Ver. 1.02)

登場人物	女の子(8歳)、男の子(12歳)、女(18歳)、男(22歳)
録音方法	女の子と女をひとりの女性声優に、男の子と男をひとりの男性声優に担当して頂く
原稿の著作権	電気通信大学・高橋弘太研究室とするものの、改変しないことを条件に、一部または全体を自由に利用したり掲載することを認める予定。
録音後の音声	インターネット上に公開し、研究者が自由に研究素材として利用できるようにする。また、一般の人でも試聴できるようにすることで、音声研究を啓蒙することをめざす。
データベース	http://www.it.ice.uec.ac.jp/SRV-DB/ にて、現時点までに蓄積した音声を公開中。